

援助的人間関係論

必修

開講年次：2年次後期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：看護の基本をなす対象との援助的人間関係の形成について理解を深めると共に、コミュニケーションの理論と技術を修得する。また、受容、共感について理解し、自己と他者との関係が成立し信頼関係を確立することによって援助が可能となることを学ぶ。

■**到達目標**：①自己概念を構築し、対人関係形成における自己の傾向について述べることができる
②援助者として聴くこと・伝えることができる
③援助的人間関係を形成するために、意図的に関わることができる

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎守村 洋・藤井 瑞恵・古都 昌子・伊東 健太郎

■**授業計画・内容**：

- 第1、2回 オリエンテーション
コミュニケーション技法（言語、非言語）、プロセスレコード
- 第3、4回 面接技法；マイクロカウンセリング・基本的かかわり技法①
- 第5、6回 面接技法；マイクロカウンセリング・基本的かかわり技法②
- 第7、8回 援助的人間関係における看護実践場面（模擬患者ロールプレイ）
（成人看護学臨地実習I）
- 第9～11回 臨床実習場面における援助的人間関係
・成人看護学臨地実習IIにおける援助的人間関係場面
・グループ毎にディスカッション（再現ロールプレイ）
・プレゼンテーションにより学びを共有する
- 第12回 援助する人・自分（自己理解・自己覚知）；パーソナリティ・テスト
- 第13、14回 援助を受ける人・他者（他者理解と援助）；ブラインドウォーク
- 第15回 援助的人間関係のまとめ；援助的人間関係とは（プレゼンテーション）
※オムニバス形式のため、順序の変更もありえる

■**教科書**：『看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術』／山本勝則ら編（メヂカルフレンド社）

■**参考文献**：（下記の参考文献以外にも講義内で紹介する）

- 『人間関係論』／長谷川浩（医学書院）
『人間を育む人間関係論』／服部祥子（医学書院）
『ナースのための心理学—人間関係論入門』／岡堂哲雄（金子書房）
『違和感と援助者アイデンティティ』／宮本真巳（日本看護協会出版会）
『患者の心に寄り添う聞き方・話し方—ケアに生かすコミュニケーション』／太湯好子（メヂカルフレンド）
『新版TEGII解説とエゴグラム・パターン』／東京大学医学部心療内科TEG研究会編（金子書房）
『マイクロカウンセリング』／福原真知子他訳（川島書店）
『自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード』／長谷川雅美他編（日総研）

■**成績評価基準と方法**：演習単元テーマについては演習参加度により評価する（演習内容によってはプロセスレコード等の記録物を課すこともある）最終評価レポートにより評価する（35%）また、欠席は3点、遅刻・早退は1.5点の減点とする（15%）

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
演習単元テーマ				演習参加度	
・コミュニケーション技法	◎	◎	◎		10
・援助する人・自分／援助を受ける人・他者	◎	◎	◎		10
・面接技法	◎	◎	◎		10
・看護実践場面	◎	◎	◎		10
・臨床実習場面における援助的人間関係	◎	◎	◎		10
援助的人間関係論最終レポート	◎	◎	◎		35
出席状況				2/3以上の出席	15 欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：「対人コミュニケーション」「成人看護学臨地実習I」を履修済みであることが望ましい

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：毎回、体験的に学習します。臨床指導者および模擬患者の参加を得た演習も行います。補習できませんので、欠席しないように臨んで下さい。